

英語を楽しく

No. 57

9, June

☆ アメリカをちょっと見て

アメリカでのちょっとした体験あれこれ

- ① 自動車の警報機の音 旅行中、聞いたことがない
自動車の警報機、緊急危険でない限りならすことがない。
ならすことは、非常な状態を意味します。

- ② スクールバスが停車すると対向車・後続車 すべての車は 停止
これはバスを降りて道を横断する人に危険がないようにとの配慮と思える。
なお、信号が赤で道を渡っていても、必ずと言っていいほど自動車は止まってくれる。

- ③ 地下鉄で 警察官が拳銃を持って待機
N. Y の地下鉄。危険と言われているからか拳銃を持った警察官が座席にいました。
電車に乗っている人は それが別に気にならないようでした。

- ④ 喫煙場所でも、そこにタバコを吸っていない人がいれば、
“Excuse me, May I smoke?” とたずねるマナー。
(喫煙場所であってもなくても、そばに人がいれば “Excuse me, May I smoke?”)

- ⑤ 大通り歩いて白バイとすれ違ったとき “Hi!”
と挨拶のつもりで手を上げたのですが、その白バイ
数分後に U ターンしてきて、
“Do you have anythig trouble”
「何か困ったことがありますか？」
わざわざ U ターンしてきてくれて恐縮しました。



外国でも、日本人の他人に対するマナーの良さは定評がありますが、それでも外国から学ぶものも多いのではないのでしょうか。

- ★ 「海外旅行は危険がいっぱい」と言われる人がいますが、確かに危険なことはありますが、それは日本でも同じ。危険な目に合わないためにはそれだけの用心が必要。
「備えあれば憂い無し」の状態に自分をしておくことが大切だと思います。

Yoshi